

新入生歓迎！



## 日本型ネイチャーポジティブとは？

東京大学農学部 150 周年記念関連シンポジウム  
東京大学 150 周年記念事業関連イベント



日時：3月26日（水）13:30-17:40

場所：東京大学 弥生キャンパス・弥生講堂（対面のみ）。住所：文京区弥生1-1-1

主催：東京大学 農学部

協力：東京大学 GX 学生ネットワーク（GXSN）、アースウォッチ・ジャパン

後援：埼玉県入間郡三芳町、岩手県陸前高田市

### 本シンポジウムの趣旨

自然と共生する社会を目指すために、自然環境や生物多様性の損失を止め、流れを反転させる手法について、議論が国際社会で活発化しています。これに向けては社会の根本的な変革（transformative change）が必要となっているとの声もあります。

私たちは、そのような中でも、もう一度、現場での人々の取り組みに立ち返り、対応を議論することが重要だと考えています。自然と共生する活動の価値をどう創造することができるのか、ビジネスと消費者の間を繋ぐ方策や、サステナブルファイナンスの実現化に向けた新しいアイデアが必要となっています。これらの課題について、東京大学の学生や教員、スタートアップ企業、生産現場の関係者などを交えて対話を行い、新しい気づきを得ることが、このシンポジウムのねらいです。

東京大学農学部では、生き物の力で社会を変え、そして多様な生き物を社会で守る仕組み、私たちはこの仕組みをどう構築するかを考えています。皆さんも、私たちと一緒に考えてみませんか？

### 申込み方法

以下のサイト、または右上の QR コードからお申し込み下さい（参加無料）。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfIESOXAbAbSjYbwIppbOOofNw8Tu-19thQB2xktaQj8Sbcmcw/viewform?usp=dialog>

会場のキャパシティー（300人）に達すると、申込みを締め切らせていただきます。

プログラム

総合司会：小谷あゆみ（農ジャーナリスト）

13:30-13:40

開会挨拶：津田敦（東京大学理事）

第1セッション：東京大学の学生や若手のスタートアップによる活動報告

13:40-14:50

（各自5分で活動を発表し、その後、パネルディスカッション）

モデレーター 山口空（東京大学大学院農学生命科学研究科特任研究員）

パネリスト

(1) 水野那奈子（東京大学 GX 学生ネットワーク（GXSN）：東京大学工学部 3 年）

(2) 松本望美（狩人の会：東京大学農学部 4 年）

(3) 松本百永（あぐりえこん。：東京大学農学部 4 年）

(4) 石橋宙郎（飯館村ホッププロジェクト：東京大学農学部 4 年）

(5) 橋口功大（生物学研究会：東京大学教養学部文科一類 2 年）

(6) 中野和真（環境三四郎：東京大学農学部 4 年）

休憩：14:50-15:00

第2セッション：ビジネスとの結節点・ファイナンスの役割

15:00-16:10

モデレーター 八木信行（東京大学大学院農学生命科学研究科 教授）

（各自5分で活動を発表し、その後、パネルディスカッション）

(1) 宇野 宏泰（株式会社 ZEN-BU・自然農法無の会）

(2) 中村 哲也（ニューグリーン）

(3) 藤原啓一郎（LA-Lab）（長野県上田市）

(4) 竹内 四季（イノカ Innoqua）

(5) イヴォーン ユー（EY 新日本有限責任監査法人）

(6) 諸岡 孟（一般社団法人 WE AT）

休憩：16:10-16:20

第3セッション：地域振興とネイチャーポジティブ、自然環境とその変遷から考える日本型  
ネイチャーポジティブ、産官学ネイチャーポジティブ・ネットワークの立ち上げ

16:20-17:35

モデレーター 八木信行（東京大学大学院農学生命科学研究科）

(1) 宮下 直（東京大学大学院農学生命科学研究科）

(2) 伊藤 雪穂（アースウォッチジャパン）

(3) 林 伊佐雄（埼玉県三芳町長）

(4) 高橋 和良（バンザイ・ファクトリー）（岩手県大船渡市）

(5) 江澤 孝太郎（ママノチョコレート）（東京都港区）

(6) 澤登 早苗（フルーツグローア-澤登）（山梨県峡東地域）

(7) 有田 一貴（小田急電鉄/ハンターバンク）

閉会挨拶：中嶋康博（東京大学大学院農学生命科学研究科長）

17:35-17:40